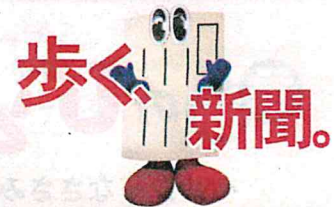


てくてく北九州



the WALKING NEWSPAPER
西日本新聞北九州本社

発行所：西日本新聞北九州本社 北九州市小倉北区堺町 1-2-16 十八銀行第一生命共同ビル 4F 編集部 ☎093 (541) 9300 次回発行2014年8月3日(日)



三瀬さん(右)の絵本を販売しているギャラリーカフェ・ジラソーレ(門司区)にて

故郷の仏殿修復を支援 願いを込めて絵本を出版

北九州市門司区を拠点に、詩や童話の朗読活動をしている三瀬(みせ) 洋子さん(66)。故郷の国重要文化財「如法寺仏殿」(愛媛県大洲市)の修復を支援するために、昨年の秋、絵本を自費出版しました。収益は修復費として全額寄付しています。「北九州の人たちに助けられ、支援の輪を広げることができました。皆さんとの出会いと応援に心から感謝しています」とすてきな笑顔で語ります。

三瀬さんは愛媛県大洲市で生まれ育ち、高校卒業後に上京しました。東京都立中学の英語教諭を30年間勤め、退職後は愛媛に帰郷。音楽家の兄が主催するコンサートで朗読したことをきっかけに、幼稚園や小学校などから朗読を依頼されるようになりました。

若い頃から演劇に親しみ、腹式呼吸法で鍛えた伸びやかな声を持つ三瀬さん。2010年に北九州へ転居した後も、地元の音楽家と朗読コンサートを開催するようになりました。



絵本「石のひみつ」1冊1000円。挿絵は夫のみずまき・かおるさんが担当

昨年5月、実家の近くに「如法寺仏殿」(1670年建立)の改修工事が資金不足で進まない現状を知り、大洲市でチャリティーコンサートを企画。北九州の音楽家2人も応援出演し、改修資金を募りました。その際に自らの体験をもとに創作した童話を披露したところ、「とても感動した。あの話をぜひ絵本にしてほしい」という声がたくさん寄せられ、1000冊を自費出版することに。門司区の大利商店街など約20店が趣旨に賛同し、絵本の販売に協力してくれました。「大洲という地名も知らないのに、多くの人が協力してくれた。本当にうれしかったです」と話します。

故郷の脈(ひじ) 川を舞台に、小学生を主人公に書いた絵本。「美しいものに触れ、いっぱい感動体験を積んで、強くて優しい大人になってほしい」というメッセージが込められています。今後は英訳の文章を追加し、増刷する予定。絵本を通して、大切な思いをつないでいきます。

(神田優紀)